

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1731.89	ツラヤ <稀>	スカ
1738.19	tsum'oro'N → 三重県出身の両親	
1739.85	ko:ri <K地には言わない>	
1744.60	カ+ヅリ <地に使う> スカ <稀>	
1761.74	スカ <ツラヤとは子供に言わない>	
1762.10	スカ <昔使った>	ツラヤ
1770.18	スカ <ツラヤとは言わない>	
1773.27	ツラヤ <スカは子供に使った。タレは両親に使った>	
1781.95	スカ <ツラヤとは言わない>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は黒密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (3)
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1859.84	tantāre ³ ki < 二頃 下子に tsm ³ rāra ³ ku ³ (ある) >	
1867.15	スカ つららか下子のスカカヤカルカウ。	
1893.10	tsm ³ rārigko ↓ (使島保出身の両親)	
2700.48	ツララ < スカカハヒウカウ >	
2712.33	古 スカ°	ツララ
2722.67	スカ° (ツララ ³ はん ² は ² は ² 南 ¹ いた ¹ こと ¹ も ¹ な ¹ い。 ニ ¹ ツララ ³ ヒ ¹ ウ ¹ カ ¹ ウ ¹ は ² 下 ¹ 子 ¹ に ¹ 南 ¹ いた ¹)	
2731.97	ツララ<子>	スカ°
2732.39	ツララギ 小形保出身の女がいう。	タルキ、スカ°
2741.46	スカ° ツララ ³ 稀に南 ¹ く。	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中で情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
129	262	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
つらら (氷柱)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2781.91	amesijā 〈エツラ雨に降るから〉	
2795.66	〈エ〉tsirana (?)	sijā
3711.92	sijā	
3720.58	sūjā taroppe エツラ人雪止る	
3722.32	taroppe (音)	sijā . sijama.
3724.36	(エカ)	
3727.21	クヒ (エツラに近しい)	
3733.73	sijama (エカ)	
3742.82	sūjā	
3745.62	クヒ 〈新〉	1 キスカ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (5)
項目名 つらら (氷柱)		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3750.75	sīya(昔). taroppe(今)	
3751.81	taroppe<昔>	sīya
3752.47	sīya(今)	
3753.88	タロ	
3755.32	タロヒ (ヒ〜ニは近)	
3762.77	sīya(サカウ)	
3765.74	イヌタロ (重なるもの)	タロヒ
3770.62	dzirogo tarogo	dzirogo 短 tarogo 長
		エロコタロコヒツテン

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3770.96	sīya (~sagarū)	
3780.65	sīya (つかい)	
3781.49	sūiya ~つかいといふ。	
3781.86	sūiya (つかい)	
3782.71	sūiya (~sagarū)	
3782.98	sīya (sāyarū) ^{つかい}	
3784.24	ア口 ^氷	
3790.27	sīya (sagarū)	
3792.96	sūiya sūiya marū といふ。	
4598.33	bidare (氷) tareko (氷)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 共通注記	ページ
項目名 フリン(氷柱)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4598.74	tareko <稀>	ho:dare
4618.87	siya (126に同じ)	
4637.68	giya 被調査の家の嫁(同じ埴川部落) siya 生け火-ko本は siyaと発音した。	
4638.43	ko:ri <上ららむ昔からあった語であるか [siya] <稀> siyaの方が主流な語である。 (siyaが古い形であろう。)>	
4639.69	bo:dare <古>	sui ga
4643.47	taru 古語。現在は多く ko:ri と可耳。	
4644.10	ta'rembe [ta'rembe]	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(8)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4644.10	a ^r amazare 〈若人〉 『ama ^r are 若人こほ』	
4647.69	ko:ri 〈其の人は suza ^r と云〉	
4648.42	ko:ri 〈ko:ri sa ^r aru〉	
4648.59	ko:ri 〈古くは言ふ。〉	
	kanako:ri 〈稀〉 「地におよそか」に對する	
4652.79	* ko:ri (tsuzum ^r と云ふは此の語に於て取訂正。 ko:riと云ふは、外に名はなと云ふ)。	
4653.47	tarmgi 〈2回凍結せしむ〉	tarmki
4658.42	ko:ri ko:riに云ふ。	
4659.50	カ ^r コ ^r リ。稍改るに際、通常「リ」は「イ」に云ふ。	カ ^r コ ^r イ。

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (9)
項目名 つらら(氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4659.85	ko:ɬ . kana bo:ɬ (yの音は脱落) 同:2banz普通	
4666.99	kenako:ri (n+ɬ-yの)はr音がかわるに.又.g音がたはら	
4685.10	ko:rui <稀> kanekko:ri <og>	
4695.19	つらら?	カネコリ
4701.73	suiga <-綴	tsuidzura.
4706.80	taraɣi [taraɣjo:] [稀] <?>	
4711.41	[suiga]	
4712.16	siɣa <稀>. <古>.	taɬoɬi
4713.45	tsuidzura [a] <新>	taɬoɬi
4715.33	*taɬoɬi <古>	taɬuɣi
4721.36	[suiga]	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕()は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ 10
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4722.40	bondare <昔>	suigā <今>
4726.80	tasoppe <新・俗>	talogi
4731.42	[bondāra]	
4731.85	[bondara]	
4742.37	talugi	[tasegi]
4744.32	talog ^{gi} i <昔・学校の先生かこう教えること>	
4746.20	talompe <古>	
4760.64	[kanankoji] (はらけ言おうとるると下の様に)	
	[kanankori] (「か」にたる)	
4761.07	bojedare <古>	taregi <新・稀>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は緊密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (11)
項目名 つらら (氷柱)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4770.62	(?) ko:li	
4771.58	taregi < taregi on 3. つららか? > tariqi < tariqi も 3. つらら 使う >	
4771.92	ko:re < ~ sagatta のほうに使う >	
4772.33	tariqi < 普通使う >	
4771.98	amadare < 古 > tsürara < 今 >	
4781.86	amadare < 雨のあまに代は. amaji denguxu. > amambo: < 新 >	
4781.48	amambo < 何故 いうか かわからん >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 フリン (氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(V2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4784.41	fija (fija 方が 3.73) (fija)	
4792.43	amembo: 〈雨に水の変わったもの〉	
4793.41	fijambo 〈今は少い〉 sajambo 〈多〉	
5462.57	ㄹ (~ が ㄹ が ㄹ) ㄹㄹ 〈古〉	
5463.64	ㄹㄹ 〈ㄹㄹ が ㄹ が ㄹ ㄹ〉	
5516.59	bo:dare 〈新〉	siindzin
5517.57	bo:dare 〈新〉	tantarolke

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は括弧にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(13)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5517.90	tantarake 9>9ㄥ	
5527.89	tantarake 9>9ㄥ	
5538.49	kamekoro カネコロ	
5548.60	findzin taruki <古>	kamekoro
5575.55	tfintfin taruki <古>	tsurara
5576.60	tfintfin taruki <子>	taruki
5586.90	ko:ri 子供達は tsurara といって 2..3..	
5599.75	コリ <音>	
603.35	[] ko:ri (kamekko:ri. 古<今> shō [] kamekko:ri 今<古> shō shō shō shō)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(4)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5611.39	kameTko:ri <子供頃から使っていた> tsuzura <成人から使うようになった>	
5615.78	kamaTkurri (孫は tsunara 被調査者は 認めぬ。)	
5618.43	ko:ri <特. tan. e deru mondagare jane sake:ri sayatt o:ri ni u>	
5620.30	kanekoro カネコロ	
5625.32	カネコロリ kannakkuri	
5626.99	カネコロリ (126に同じ)	
5629.23	ツズラ <新> (本人の訂正の誤った方が多い)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(15)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5629.23	カノンホオ <古>	
5633.96	ko:ri <ko:ri ya sayatta>	
5635.48	アメンホオ <古>	ツオリンホオ
5636.74	ワラウ <子> <学校で教えられる>	コオリンホオ
5638.53	アメンホオ <古 今使>	
5641.94	? amembo <古>	tsurara
5642.17	suguri <古>	tsurara
5642.67	tsuzura <新>	suguri
5644.74	ワラウ (英)	
	ツオリンホオ <英>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (16)
項目名 つらら (氷柱)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5645.27	アメンホオ <多>	ツオリンホオ
5648.53	アメンホオ <多>	ツララ
5649.65	アメンホオ <古>	
5652.22	suguri (tsudzuna と同言、こゝろはず)	
5655.97	アメンホオ <見>	ツスラ
5657.06	ツスラ <古>	
	カテンホオ <古>	
	ツオリンホオ <新>	
5657.53	ツオリンホオ <見>	ツスラ
5657.78	カテンホオ <古・少>	ツララ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(17)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5659.78	アムボト <多>	
5661.68	amembotfi <古>	tsurata
5663.09	ko:7i (~ ga sagatta) amambotfi (~ ga simite kita) (特別な意: 方はたう) <道のたうにシミガtsuraranatta>	
5663.64	amandare (雨のLにLはるのほ amaotfi)	
5664.58	アムボト <多>	ツララ
5665.89	ツリンボト <ツワ = ツガル>	
5666.10	アムボト <多>	ツララ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 フララ (氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(18)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5667.08	アメニボウ < 兎 >	フララ
5667.24	カナンボオ < 古 >	
5667.41	カナンボオ < 50ネニ グライ サカボラナイ。 イトカニシ = フララ スルト サカル >	
5667.81	アメニボオ < 古 >	
5669.96	tsüid)züira < 新 >	amembo
5671.00	tsuzura (道に氷か氷, 2セカヒカ支る 2.3 氷態は tsurara)	
5671.94	? ko:ri	
5672.75	amembo: < 俗に使うことば >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(1/9)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5674.59	アムホオ (多)	ツララ
5675.87	アムホオ 普通のことは:	ツララ
5676.84	アムホオ (多)	
5677.60	アムホオ (〜カケル)	
5677.85	アムホオ (古. 3. ともには)	アオリホオ
5678.33	アムホ (〜カサガツ) (普)	
5681.47	ko:rimbo: <3. ともは3. に使った>	tsudzura
5682.37	? amambo:	
5685.02	amambo: [栃木県出身(木村氏)の専島夫人 他府の凍-Eaz tsu-rari 沢から流れる氷凍凍、アムホ は) 出たもの nemaridaji]	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は緊密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(20)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5686.15	a ^r me ^g o:ri <雨の粒を垂れか氷をから> a ^r m ^e bo: <雨の降の意. 児童語>	
5686.31	a ^r mambo: ((アムンボ))	
5686.67	* ツツラ	ツツラ
5687.32	アムンボ <u><普通></u> ツツラ <女>? <学校で生徒などに使う>	
5687.59	a ^r membo: <雨の降のこと>	
5687.86	アムンボ <u><普></u>	ツツラ
5688.01	アムンボ (〜が アムンボ) ~はツツラのこと.	
5688.37	アムンボ (〜アムンボ)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(2/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5690.12	? amadare (n-ya ko:tta) ? ko:ri	
5690.27	? ko:ri	
5690.96	ko:ribana (ya sajaru) (いほらく考えに末に<あ>をうた)と言って)	
5694.31	ツララ <道路などの流れ水に流るの事言ふ>	
5697.53	a'membo: <古. 子供の喧嘩した>	tsurara
5698.91	a'membo: <昔. 多.> <雨かたれ凍凍した>	
5712.70	tsuitzuro [sajambo<古>] [tsurara]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	通注記 A	ページ
項目名 つらら (氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(22)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5740.43	アヌボオ < 99 >	
5741.25	siigara 別に調査した他の被調査者によれば: sagambo: siigambo: < 稀 >	
5750.84	アヌボオ < 最近あまり使わないことかた。 >	
5751.78	amembo: < 古 >	tsuirara
5782.99	tsurara < 稀 >	tfirara
5782.94	tororo < 少 >	tsuizura
5791.07	tororo < 多 >	tsurara

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (水柱)		(B 除いた共通語)	(23)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5794.62	tororo.<古> [tsurara...被調査者妹は tʃiraran<新> tʃiraranはおかしい]	
6296.27	amadare (疑があれが、シエがオリテ アツレがツツなという由)	
6339.35	シンサエ<古> ツツラ<新>	
6348.71	トシヨオ<古>	ツツラ
6357.38	トシヨオ <〜がサカル>	
6357.76	トシヨオ<新>	トシヨオ
6366.24	nandzo:<新>	tsurari

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕()は裏面にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(24)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6368.59	カコリ <昔>	
6377.11	ツララ <古>	
6385.28	Kanako:ri (~ ga sagatta)	simarm.
6386.66	sumarm <古>	tsurara
6389.22	ツララ (稀)	ツララ
6389.56	カネコオリ <古>	ツララ
6403.62	tfirara <新>	saja
6406.77	tfirara <新>	tfirari
6408.72	tsurara <古>	tsuzura
6412.91	fandrae <古>	tfirara

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の「>」「<」「」は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(25)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6417.14	kameko:ri <古・少>	tsurara
6421.79	tsirara <新>	tsirazai
6421.82	Sundzae <古> tsirara <新・ハカウ>	
6423.23	tsidzira (飯島で普通にかはツツラとていふこと)	
6425.41	ツズラ <新>	カトコオリ
6428.13	ツリ <戯れに言う>	
6428.76	ツリ <古>	コオリ
6429.15	ツリ <新>	ツララ
6429.30	ツリ <新・稀>	ツララ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (26)
項目名 つらら(氷柱)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6429.61	ツオリ〈古〉	ツララ
6429.65	ツララ〈古・稀〉	ツオリ
6435.03	カタツオリ〈普〉	ツララ
6442.80	シミサイ〈稀〉	ツララ
6443.03	ko:ri (~ ga sagaru) としかいゆめ	
6446.69	4=ホゴツオリ 〈古〉	ツララ
6452.98	シミサイ zad → zjai	ツララ
6458.26	ツララ〈津山(岡山県)に行きました時初めてみた〉	
6459.87	ツララ〈家の軒にツララが落ちたことは無い。 しかし、溝などに上から集まったことがある〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (27)
項 自 名 ツララ(氷柱)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6461.53	カネーリ ぬ・カネーリ	
6466.16	ク>クロリン <3供の時>	クツラ
6466.41	クロリン <古>	
6470.11	na ^r raũzo: <古> tsu ^r na ^r a <今>	
6471.26	ツララ 「カトコリ」(金氷)とも云うが、カトコリは 池に張っているのもいう。	
6474.50	コオリ (〜カヤガル) <みんな ツララと云うが、自分は使わない> (この地方には ツララは、見かけない)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (28)
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 残のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6476.13	ツララ ムツララカハル	
6485.14	<古> ツララ	ツララ
6485.46	ツララ (瀧宮 下野 林平氏 (74才) は ツララ いっ下.)	
6386.32	jamenoko:ri (~yasagatta とい)	
6504.01	bo:dare (bo: ... のおはやくお思はる)	
6504.44	odare (優先)	tsurara
6512.09	nanzo: [nanrjo: / tsurara dewa nanzo: dewa nanrjo:]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(米柱)		(B 除いた共通語)	(19)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6513.51	tsurara 前着優先すべし。古形ナリ。 ko:ri 今は大体後着。	
6514.61	namdzo: <古>	
6515.24	koyori (koyorinaya sayattataと云)	
6522.03	2-1) ツララとはいふたひ。	
6522.79	トツジヨ(〜がすが、7)。(被調査者が子供の頃)	ツララ
6523.54	gori <子供の頃使った>	tsurara
6524.01	hodare <古>	namdzo: namdzo:ro.
6526.98	<他.昔> ド+ジナリ	ツララ
6536.39	tsuzura <新> *tsurara <古>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (30)
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6536.68	tsurara <古>	kananbo
6545.88	kananbo: <子供の頃使った>	tsurara
6546.15	カナンボ <特に子供に向か、よく使う>	ツツラ
6551.77	tsurara <当地では、古来「ツツラ」は2-2音かた>	
6552.71	ツツラ (ツツラの訛)	
6552.90	tsurara (「ツツラ」)	
6553.99	tsurara (「ツツラ」)	
6554.88	firara <古>	tsurara
6567.79	<本当地> tsuzura	tfi:mbogo:ri
6569.12	tsüzüra <新>	tfigkojo:ri

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(3/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6572.55	tsürara 妻は tsüdara	
6574.52	tsurara (「ツララ」)	
6577.76	tsuzura <稀> (当地は比較的暖かいから こゝろろ。)	
6583.41	tsüdra dra (「ツララ」の「ラ」には「d」音がまじる)	
6583.45	tsurara (「ツララ」)	
6587.42	N.K. <こゝたものは実際には、学校では ツララと教えるが>	
6593.30	tsü'ara これが長いと粟の出来がいい。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (32)
項目名 ツララ(氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6593.98	tsurara (マコエト「ツララ」)	
6595.32	ツオリバシラ N.k. 〈こんなことは起らないから知らない〉	
6600.97	ko:ri 〈子供は tsurara と言う事に決まってる〉	
6603.08	ツオリ=ホオ [稀]	アマ=ホオ
6603.24	? ツオリ (ツオリが ツルヤル と言って他の言い方はない。ツララとも言うらしい。)	
6604.15	ツオリ=ホオ 〈古〉	ツララ
6604.98	スタレ 〈地上に一面水か氷で覆っているのをツララという〉	
6608.22	アマ=ホオ 〈岩から下へ下ったものをツオリ=ホオという〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号 109	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(33)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6610.77	tsurara <何か別の言い方がある。思い出せない。人に尋ねて見下か。知っている人か。いた。やはりツララか。>	
6613.07	*=9-V <9>	工利=ボオ
6613.97	ko:ri (~ya sagarum 等) tsuirara <上>	← N.R. (ほか NR 2 あった)
6618.25	amembo: <今人は [tsurara] と言う。>	
6621.57	ko:ri — ya sagarum	
6625.66	ko:ri <川端の草の葉などの場合は + first fin- -yo:ri 等。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (34)
項目名 つらら (氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6626.06	amembo: 〈今ほ〔tsuzura〕かぎん〉	
6626.46	amembo: 〈両丘〔mai〕にさかきから〉	
6631.53	tsurara 氷筒と simotake といふ	
6631.69	ko:ri ko:ri ga sajam といふ.	tsurara
6632.15	ko:ri -ga tsurrisagatta	
6632.64	ko:ri (ga tsurrisagam)	
6633.27	tsurara 二ヶ所にはたんといふ.	
6635.20	tsuzura -ga sajam	
6635.87	tsurara つらはたん. 言ふときは tsurara.	
6636.05	amembo: さかき	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(35)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6641.39	fimbo:yo:ri 氷筒は ziyo:ri という。	
6641.82	fimbogo:ri <奥のこと稀>	
6642.58	bo:yo:ri 古。	
6643.16	tsurara:yo:ri ツララは液体になん。 tsurmsagariko:ri	
6645.37	bi:doro (n saganu) <稀> <今もどどま言う>	tsurara
6650.70	fimbogo:ri <古>	tsurara
6650.79	tsurara 土地では更られたん。	
6650.94	tsu つららはどどま。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕()は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (36)
項目名 つらら(氷柱)			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6652.77	tsumzura <糸>	tfinboyo:ri
6655.51	tfinpo:go:ri <古> <子供が頃言った。今もこどもは言っている>	seroŋo:po
6657.54	N.R. <木窟では氷柱は下らない>	
6657.96	jukinobe: (氷でも雪の棒と言う)	
6677.70	tsurara <見たことはない>	
6686.75	tappi (~ga sagara)	
6700.48	tororo <古>	tsurara
7208.97	<古> tfinpo:go:ri 今も。	
7237.67	tsurarin (糸柱は tsuraran)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (37)
項目名 ツララ(氷柱)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7239.29	ツララ tsurara 〈町方はツズラ〉	
7239.82	sagarigu:riro 〈同の水口はたに2-33と sagarigu:riroと云う ↑ (指略702)〉	
7246.45	tsurara [新?] 河島小浜では tšimpogor と云う。tšimpogorは陰茎の意。	
7258.89	* tarumi	tarumi
7259.22	tarumi (奥土人は tarumi と云う)	
7259.54	* タロミ	ツララ
7274.57	ツララ 〈このあたりはツララミミと云う〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 共通注記	ページ (38)
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7275.84	ツララ (ツララはあまりみない) (別にかうかんとも言う)	
7279.01	ツズラ (新) ツロオト (古)	
7284.16	kot2 (~ no sagatta) (tと2は同時訓音)。(過去)	
7301.67	ko:ri no mo ga (mo ga は ma ga no ko (馬鉄の子)の縮 まったもの2ある。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買回番号 129	地図番号 262	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (39)
項目名 つらう (文柱)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7302.87	mo:ga nko (馬鉄13の町, 似ていると) mo:ga noko (3から生じた転訛音)	
7303.29	sumāru (モ-カンゴ なる) マカゴ	
7303.75	mo:ga nko (多)	tsum rā rā
7312.11	mō:ga nko (maga > mo:ga 変化した)	
7312.69	maga nko (馬鉄13 = 濃具 = の町 = 似ているの - いう)	
7313.34	mō:ga nko (馬鉄の子の意と説明す)	tsum rā rā
7320.59	⑧ maganoko (正期以後筑前部 筑後に流 れて来たらしい)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(文(柱))		〔B〕 除いた共通語	
		〔C〕 除いた特殊語	(40)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7322.2/	tsurare (?)	
7322.8/	maga ^{ri} ko ↳ (noでなはら)	
7325.57	tsuzura <新>	mo:gaŋko
7326.4/	mo:gaŋko <「真銀のり」の味と、耳から こえる。>	
7329.39	tsuzara (あるいは被調査者の個人的な音訛 かも知れない。)	
7332.97	magan ^{ko} (ツララ)はし ツラレ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (41)
項目名 つらら (水柱)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7335.93	kurara <古>	mo:gayko
7338.48	tsuzura <tsurara z・k・o・y・k・o> うっすた。こほ tu 音ではなからた。	
7339.27	tsurara (tsurara といふ人もある。 32年調)	
7340.50	<古> tsuzura	tarami
7341.42	ツスラ tsuzura <上> (zuには軽い破裂音が加わる) つらみ tarami <多>	
7343.76	mo:gayko [馬鉄 等の開はモ一か似て いふ故なりむ]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (42)
項目名 つらら (氷柱)			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7345.47	mō:gayko <木柱はもの>	t'urara
7347.93	je:raku [v] この方言は[u]と[o]との中間音。	
7349.07	tsurara (tsuraraとという人もある。 32年調)	
7351.09	maganko (モカゴ)	
7352.38	magako <馬鉄の子の意>	
7352.61	ツツラ (稀)	マカゴ
7353.03	magako <maga(馬鉄)の子の意>	
7353.19	mogako 注 土津江では kurimbo: といふ。	
7354.23	ミンガル <稀 馬柱>	モカゴ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は秘密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(43)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7357.31	tsuzura 〈新〉	jo:raku
7357.64	jo:raku 〈ニホカ当地のことは〉	
7363.85	トニニニツラリ 〈古〉	トキボクニ、トクニ
7364.34	ツララ [tsu a a]	
7365.51	hōdare 〈稀〉	turara
7367.25	jo:raku 〈稀〉	t'urara
7372.03	ツスラ 〈古、稀〉	トクニ
7374.75	ツカンツ (古)	カニダラ、トクニ、ツララ
7375.96	〈稀〉 kamamara	ko:ri
7376.62	kanakori 〈“~ga sagattōru”のツラリ N.R. (江戸のNR) 地方に 固有の...方はタン〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	(44)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7376.68	jo:raku (珍しい言い方であると思う)	
7370.74	9ㄨㄟ (ホクダは使わない)	
7382.97	ホクダ マカソフは使わない	
7384.16	ko:ri <ko:ri ga sagatta とい> (特殊な言い方である。)	
7385.38	* ko:ri (ko:ribafiraは霜柱のこと。この 答えは誤りである。ko:ri ga sagatt foru とい。従って、個々の 名称は正しい) ← N.R. (ほかのNRと一致)	
7385.61	ko:ri (~ ga sagaru) <特別の言い方はない (成は sagatt foru) とい>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号 129	地図番号 262	(A) 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		(B) 除いた共通語	(C) 除いた特殊語 (45)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7385.74	<?> kanako:ri (tsurara は使わない。 kanako:ri 以外には通当な言葉は ないようである。)	
7386.56	(ko:ri) tsuzura <漢: [tsuzura]> [ko:ri tsuzura]ともいう。>	
7386.63	kanakori (126との相違はない)	
7390.26	ホタル <新>	704. 404 =
7390.70	404 = (ホタル) } などとは用いない 462	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (46)
項目名 フウラ (水柱)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	② 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	① A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7394.60	ツズラ (ホタル<科> } ツズラのホタルの スタレ<科> } 採用	
7395.63	kamakuri ga sagatoru 〈特称はたかくまのこに言う〉	← NR. (ほしのNRであら)
7396.53	〈下〉kanamara	
7400.15	tsuzura < tsuzura ga sagatara たこという。〉	
7404.56	kurara (kurara «フツ») 唇の端は動かない)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (水柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(47)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7410.57	tsurara (地域内には kanko:ri = tsurara 表わし.. 3つもある。)	
7412.26	ko:ri (~ ga sagaru koto)	
7412.71	tsurara <tsurara ga hat.oru>	
7414.43	ku fa fa <5>	tu fa fa
7431.08	tsurari (<tsurari ga sagattoru> koto)	
7431.13	kanako:ri (名詞形は kanako:ri . < ~ ga sagaru> koto)	← NR. (13 の NR 2-6, F)

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は縦密にする。

質問番号 129	地図番号 262	① 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		〔B 除いた共通語〕	(X)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	② 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7432.95	tsurara kurara という人もある。採用。	
7433.37	ko:ri 強いて言えば 〈暖かい関係の実物を見ず。〉 〜no sroduku	
7433.52	tsurara	
7436.73	〈ko:ri〉(〜gabirakuru) (tsuraraは使われという、名詞形を どうしても誘導できない。)	
7440.72	tsurara (稀に tsurana という人もある。 32年調査)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (49)
項目名 つらら(氷柱)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7446.26	ko:ri (- ga bo:ni naru) つららというこぼを使わぬという。理由は 室戸地方は冬極端に暖く。従ってこのた 現象は見ぬからである。	
7502.89	tsura'ra <この辺では本来ない>	
7503.48	ko:ri <ここでは tsu'zura という方が>	
7504.27	bi: doro もとからの語。	tsudzura
7521.79	びいとり <ガラスに似ている故にいう>	
7522.94	びいとり (ガラスのびいどりの転訛より)	
7523.27	NR <知らぬという。暖くて冬も実物見たいのと 名も知らぬのである。>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は箇密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (50)
項目名 フらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7523.74	NK. 因原. 2は見られたい.	
7659.40	NK. そかうことかいたい.	
8229.96	NK. <実物を見ず>	
8239.31	実物を見たい.	
8248.18	NK. <実物を見ず>	
8300.80	こつてや <古>	
8302.65	ギ<?> ゴギル	
8303.13	keiri (~ no sagatta 23 に い)	
8303.47	グズ <本来 a に は>. ホダラ < 24 の 土地 の 入 の 22 に 2 は ば >	
8303.70	アタゴ 20 利 <新>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	[C 除いた特殊語] (5/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A) 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8304.66	kanakuri (~ga sagatta) 特殊はない。	
8305.73	ko:ri (特別な言...方はないよ...ある。)	
8306.04	? tsuzura kaykori (~ga sagattoru) 普通の方と使	
8306.42	kanekuri <元々使> tsuzura <使用度は低い>	
8310.87	simobasita (霜柱と同語... つららも指す ...は、あかしら...))	
8311.59	? bidoro	
8312.75	bin (~ga sagaru) ... 動詞はある	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(52)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8315.42	ko:ri (~ga sagaru) (正しく、獲かいたさういう現象は起らない)	
8315.46	? kanekuri kanekuri とも言うの 下ろすと答える。	
8315.89	[tsutsura]	
8316.20	ko:ri (~ga sagattoru) (特称はない)	
8322.68	simogane <126のsimoganeと同じ>	
8323.59	simogane <区別がない>	
8324.83	simogane (特称はたし、simogane ga sagattoruという)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔 〕は厳密にする。

買付番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (53)
項目名 つら (氷柱)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8325.03	NK. (この土地の気温上、春から冬の特称は ないようである。)	
8325.56	sudare (初めの南(ほう)に思う。山の霧が水 たばに真冬見られる。市内では 見られない。)	ko:ri sudare
8325.77	SUZURA(?) <南(ほう)のことかある。ほらとは 分らない。>	
8331.17	simro <実物見ることか少し。但し谷川たばか シロにたばることを見える。>	
8332.42	gimoro [稀]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		(B 除いた共通語)	(54)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8333.92	実物知らず。	
8335.05	kanegku no tsutsura <詳しくは参考>	tsutsura
8335.48	NR. (どこに当る言葉はないかある。 見たこともないという。)	
8341.94	bizuro <古>	tsurara
8342.35	tsutsura (つららの変化)	
8342.51	simoro <今は simoro は見ることは無いが。 子供の持分はよく斬先に重れた。昔は 寒さが強かったらしい。>	
8343.06	birodo <稀>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕()は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 共通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(55)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8343.74	fimogame <池の氷と同じ言葉>	
8344.71	ko:ri (n-ga sagaru) <氷がつかるとしか意味ない>	
8345.18	tsurata <この地は暖いのに、見られたい。 新しい共通語で云う。>	
8345.24	<古> fimobafira [南国故、余り使われない。 シエバンラは 普通は地面上の氷。]	
8345.74	ko:ri <n-ga sagaru/と云う。 その物の名前はない。(この地方は 暖いので、ツララがつかるとはならない)>	NR。(ほいめNRにあって)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		[B 除いた共通語]	(56)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8351.07	sudare <苫>	
8351.41	tsudzura <実物みること殆んどない>	
8352.29	実物知らず。	
8352.63	simogame (~gasagaru) 実物互見ない。谷川などに出来る氷柱。 動詞で表わすことがある。	
8353.68	simobafita <地面の霜柱と同じようにいう>	
8354.29	生活圏内になし。	
8355.23	NR (暖い地方なので、/tsurara/など 見たことがなく、従ってその存在も怪しい)	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の<>() [] は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 共通注記	ページ (57)
項目名 つらら(氷柱)		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8360.39	tfudzura <現象はないか>	
8361.31	bidoro [古] 昔実物を見たと記憶がある。	
8362.34	bidoro [稀]	tfudzura
8362.81	mjo:qayko <今日は実物を見たら、段々暖くなりつつあるのだらう>	
8362.85	simogane <~ga sagaru とか ←NR. (はじめてNRであった) 言えたら、実物を見たい>	
8363.51	NR. <実物を見たい> [tsudzura]	
8364.23	実物を見たい	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つうら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(58)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8372.47	NR. <実物を見ない>	
8372.87	simobafita <稀> <実物見ることがないからこの語用いること稀>	
8373.08	ko:ri (~ga sagaru) <~という下り>	
8373.43	ko:i (?) 西より見ないのうらこい ツララエ エウ石のとうがたのめられたい。	
8393.69	／ turaraa 現象はたい。	
8394.01	NR. <こいう現象かたい>	
9303.88	／ <事実かたい>	
9310.27	NR. <こいうものがたい>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (59)
項目名 つら(氷柱)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
9312.42	NR. 〈実物なし〉	
9322.52	NR. 〈現象がない〉	
0228.96	NR. 〈実物なし〉	
0237.84	NR. 〈見たこともない〉	
0238.55	NR. 〈実物を見ず〉	
0246.48	NR. 〈事実がない〉	
0246.97	NR. 〈 " 〉	
0247.56	NR. 〈事実も ことはも知らぬ〉	
0248.00	NR. 〈実物なし〉	
0249.17	実物がない	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (60)
項目名 つらら (氷柱)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0256.08	NR. 〈実物見ず〉	
0256.76	NR. 〈実物見ず〉	
0256.89	NR. 〈実物たれ〉	
0257.12	/ 〈実物たれ 氷柱たれ〉	
0257.43	NR. 〈事実かない〉	
0265.96	/ 〈生活圏内はない〉	
0275.36	NR. 〈実物たれ〉	
0275.97	/ 〈事実と見ない〉	
0276.50	/ 〈見下ことかない〉	
0294.66	/ 〈現象たれ〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

資料番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ 6/1
項目名 つらら(氷柱)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0294.93	たう	
0340.00	現象もたう。ゴト心もたう。	
1213.76	たは	
1231.88	つららはたう。	
1251.27	NR. <たう>	
1271.20	つららはたう。方言もたう。	
2067.52	<NR>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 フラウ (水柱)		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C] 除いた語形とその注	A 注のない語形 [B・C] 残した語形とその注
0789.95	<ko:riga sayatta 水柱>	ko:ri
1791.33	フラウ (水柱の便)	スカ
2720.75	フラウ 若一人のみ	スカ
3757.32	[ツラウ]	スカ
4609.54	[taruga] <水柱>	tarugo
4686.02	tsumara <水柱>	kaneTko:ri
4686.96	tsumara <水柱>	kameTko:ri
4746.20	tsasasa <新>	tasoupe <水柱>
5574.42	tsumara <水柱>	taruki
5579.10	フラウ <新・水柱>	カネコ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		(B) 除いた共通語	(2)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5587.74	<共> ツララ	カネコリ
5599.75	ツララ<共>	コリ<善>
5605.70	tsurara<共>	kaneTko:ri
5612.39	ツララ<稀>	カネコリ
5633.96	tsurara<稀>	ko:ri<ko:ri ga sazetta>
5638.54	ツララ<新>	アムホオ<古語文・今使>
5649.65	ツララ<新>	アムホオ<古>
5659.78	ツララ<新>	アムホオ<多>
5667.24	ツララ<新>	カトホオ<古>
5667.31	ツララ<新>	アムホオ<古>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (3)
項目名 つらら(氷柱)		B 除いた共通語	
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5671.94	tsurara <新>	?ko:ri
5672.75	tsurara <エ>	amembo: <俗に使うこと>
5676.84	ツララ (ツララは教科書以来の語だが、断崖の「アムホオ」<多> サカシと特ハツララという)	
5678.33	ツララ <共>	アムホオ (〜カサガツ) <普>
5685.37	tsurara <共>	ko:ri
5687.86	* ツララ <本人は山田>	ツツラ. アムホオ <普>
5691.37	エ tsurara	amembo
5696.68	tsurara <共>	tsuroro
5740.43	ツララ <新>	アマホオ <多>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら (氷柱)		〔B〕 除いた共通語	(4)
		〔C〕 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (〔B・C〕除いた語形とその注)	A 注のない語形 (〔B・C〕除いた語形とその注)
5788.11	tsurara <新>	anembo
6296.27	<新> tsurara (この地方ではつららとみることはほとんどないという)	amadare (疑わしいか) エモカオリテ アマダレカガシ たといふ由)
6368.59	ツララ <今>	カゴコリ <昔>
6407.88	ツララ <稀. 古. 上>	コオリ
6409.72	ツララ <共>	ツララン
6418.75	ツララ <共. 稀>	コオリ
6423.75	tsurara <新. 上品> (カネコ-42はtan)	kanekoni
6428.13	ツララ <新. 稀>	コオリ ヤリ <戯れ言>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 109	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 つらら(氷柱)		[B] 除いた共通語	(5)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C] 除いた語形とその注	A 注のない語形 [B・C] 残した語形とその注
6466.41	ツララ <新>	フイリ = <古>
6482.52	tsurara <新>	sagari kanko:ri
6514.61	tsurara <新>	mandzo: <古>
6535.24	tsurara <少>	ko:ri
6535.73	tsurara <新>	bo:dara
6544.26	sembonyari <子> <子供か子、子、子、子>	tsurara.
6600.53	[ko:ri]	tsurara
6607.18	tsurara <新>	a'membo:
6611.68	tsurara <新.共>	ko:ri
6623.28	ツララ <新.上>	ツララ = 氷柱

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項 目 名 つらら (氷柱)		[B] 除いた共通語	(6)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語を [B・C 除いた語形とその注]
6634.07	tsurara 稀.	tsuzura
6642.58	tsurara 少. ツララがたか減りに てまな。	bo:yo:ri 古.
6645.01	tsurara 新.	tsuzura
6650.12	tsurara 稀.	tsimboyo:ri
7239.24	[ma ^g ayko] [u ^f inojodare]	ma ^g ayko
7335.34	tsurara <新>	mo:gayko
7336.54	tsurara <新>	mo:gayko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ
項目名 ツララ (氷柱)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
734/.42	ツララ tsurara <新>	ツズラ tsu ^d zura <上> (ZUには軽い破裂音が加わる)
7352.14	ツララ <新>	タラミ tarami <多>
7357.64	turara <新・共>	マカンコ jo: raku <当地aにヒは>
7361.17	ツララ <共・新>	マカンコ
7363.85	ツララ <上>	キホダレ. ホダレ トンペン コオリ <多>
7366.87	turara <新>	jo: rayko
7373.92	ツララ <新>	ホダラ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (8)
項目名 つうら(氷柱)		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7373.99	ツラウ <共> <稀>	ホタラ
7375.37	tsurara <新> <現在とらら多<使うか ほつりあからたひ.>	tsu:ra
7375.71	tsuyara <新> <kanamata ... 自分ほ使 たひか。南にたことかある.>	ko:ri
7401.60	tsurara <上>	kurara
7404.12	tsutara <新>	kurara
7412.31	上. tsurara	sagarin ^o ko
7451.77	tsurara <共>	kurara
8300.80	9'2.	ツラ <共>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 262	A 普通注記	ページ (9)
項目名 ツララ(氷柱)		[B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8303.70	ツララ <新>	アマタレ. アマタレ コオリ <新>
8315.89	NR 被調査者は、稀にハ、或はほとんとはいという。つまり、当人の語彙とはなっていないと見る方が適当に思う。	[tsuttsura]
8351.07	tsurara <新>	sudare <古>